

<第1部 第2期愛知県特別支援教育推進計画の基本的な考え方>

1 計画策定の背景

平成26年3月に、特別支援教育に関わる様々な課題を総合的にとらえ、中・長期的な視点に立った本県の特別支援教育の指針となる「愛知県特別支援教育推進計画（愛知・つながりプラン）」を策定しました。平成26年度から平成30年度までの5か年にわたり、この計画に基づき、特別支援教育充実への取組を推進してきました。

計画策定から5年目を迎え、計画期間が終了することから、この計画における取組の成果や課題を整理するとともに、障害の有無によって分け隔てられないことがない共生社会の実現に向けて、子どもたち一人一人の教育的ニーズを正しく理解し、適切な支援・指導をこれまで以上に行うことができるよう、就学前から卒業後まで、支援情報の確実な引継ぎによる一貫した支援の充実等、特別支援教育の新たな取組に対応した計画が必要となっています。

2 計画の位置付け

「第2期愛知県特別支援教育推進計画（愛知・つながりプラン2023）」は、「あいちの教育ビジョン2020—第三次愛知県教育振興基本計画—」¹の取組を具体化するものです。

3 計画の策定方針

計画の策定に当たっては、現行の愛知県特別支援教育推進計画（愛知・つながりプラン）の成果や課題と、新たに必要となる対応策などを整理し、国、市町村とも協力・連携を図りながら、県教育委員会が軸となって県全体で総合的に取り組む必要があります。

4 計画の推進方針

本県の特別支援教育の現状を捉えながら、共生社会の実現に向けた特別支援教育の充実に向けて、次の四つの計画の柱を設定し、取組を推進します。

¹ 「あいちの教育ビジョン2020—第三次愛知県教育振興基本計画—」：平成28年2月 愛知県・愛知県教育委員会策定。

5 計画の四つの柱

- 1 多様な学びの場における支援・指導の充実
- 2 教員の専門性の向上
- 3 教育諸条件の整備
- 4 卒業後の生活へのスムーズな移行

6 計画期間

計画期間は、2019年度から2023年度までの5か年とします。

7 計画の進行管理

毎年度、進捗状況を調査・分析し、様々な要因による変化や国の動向等を踏まえながら、5年ごとに新たな計画の策定を行います。

8 第1期推進計画の取組と第2期推進計画策定に当たっての考え方

◆ 第1期推進計画（平成26年度から平成30年度）の取組

校種ごとの特別支援教育の推進

⇒ 校種ごとの特別支援教育の課題に向けた推進方策と取組

就労支援の充実

⇒ 就労アドバイザーの配置による関係機関との連携、就労先開拓等の拡充

策定後の社会状況の変化

- ・ 社会全般の障害者理解促進と障害者の社会参加に関する意識の高まり
- ・ 幼稚園・保育所、小中学校、高等学校における特別な支援を必要とする幼児児童生徒の増加
- ・ 語学支援の必要な障害のある外国人幼児児童生徒等の増加

期待される特別支援教育の充実と広がり

◆ 第2期推進計画策定に当たっての考え方

- 障害の有無によって分け隔てられることがない「共生社会の実現に向けた特別支援教育」の充実
- 幼稚園・保育所、小中学校、高等学校及び特別支援学校の校種間の連続性（つながり）を意識した取組の展開
- 卒業後の自立と社会参加を目指した就労支援の充実

【第2期推進計画の四つの柱と主な取組】

- 1 多様な学びの場における支援・指導の充実
 - ・ 個別の教育支援計画、個別の指導計画等の支援情報の作成率・引継ぎ率の向上と活用（幼・保、小中、高）
- 2 教員の専門性の向上
 - ・ 人事交流の活性化による特別支援教育のリーダーの育成（小中、高、特支）
- 3 教育諸条件の整備
 - ・ 「通級による指導」設置拡大（高）
 - ・ 外国人語学支援員の配置（特支）
- 4 卒業後の生活へのスムーズな移行
 - ・ 就労アドバイザーの増員（特支）

9 第2期推進計画（愛知・つながりプラン 2023）の概要図

